

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	区分	科目名	単位数	実務家教員	授業への実務経験反映内容
1	工学基礎科目	データサイエンス概論	2	松本浩樹、千川達也、荒井武彦	①DSPに機械学習アルゴリズムを搭載させた経験を活かし、データサイエンスの実問題への適用について指導を行っている。②機械学習アルゴリズムを組み込みシステムに搭載する業務経験を活かし、実問題への適用について指導している。③AI搭載ボードの開発経験を活かし、実問題への適用について指導を行っている。
2	工学基礎科目	ものづくり概論	2	石川恒夫 尾形智夫 工藤智之	官公庁との連携や企業勤務での実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かして授業を実施している。
3	工学基礎科目	環境エネルギー概論	2	藤澤星、首藤文洋	①企業での技術開発業務で得た知見を活かし、エネルギーシステム戦略や気候変動対策の位置付け・課題などについて、工学的視点だけでなく社会経済的視点に基づいて講義を実施する。②「動物と環境」のテーマで人間社会と動物の関係を獣医師の知見から問題提起した講義を行う。
4	工学基礎科目	技術者倫理	2	櫻田賢、勅使川原 敏之	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点で捉え、民間での知財マネジメントやコンサルティング経験を交えた講義を行い、公共を意識した技術者になれるよう指導している。
5	工学基礎科目	地域文化論	2	手島仁	官民連携により群馬県、地域学の研究を市民学芸員の養成など地域協働に繋げた知見を活かした授業を展開する。
工学基礎科目 集計			10		
1	学群共通科目(建・都・環)	計画数理	2	森田哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。
2	学群共通科目(建・都・環)	構造力学基礎	2	山中憲行	労働安全の技術講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
3	学群共通科目(建・都・環)	情報メディアデザイン	2	田所淳	プログラミングによるデザイン表現の実務経験を反映している。
4	学群共通科目(建・都・環)	図学デザイン	2	石川恒夫 山梨駿菜 植木幹也	設計実務の経験を活かし、建築物等の実務図面にもとづき製図法を指導している。
5	学群共通科目(建・都・環)	生活空間デザイン基礎	2	石黒由紀、渡瀬正記、伊藤孝仁	教員の実務経験を活かした実際のまちなみや建築や空間に携わる立場を前提にした授業により、総合的な学びができる
学群共通科目(建・都・環) 集計			10		
1	土木・環境プログラム	建設マネジメント	2	佐野 功	建設技術者として知っておくべきプロジェクトの構造やマネジメント法を、建設現場の現場監督から事業の計画まで経験した実務を背景にして講義する。
2	土木・環境プログラム	交通計画	2	森田哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
3	土木・環境プログラム	構造解析演習	2	久保 武明	鋼橋の設計実務の経験を活かし、PCソフトによる橋梁構造物の計算法や情報処理等を解説している。
4	土木・環境プログラム	構造物設計論	2	菅野貴浩	鉄道構造物を維持・管理する立場で、高架橋・基礎・盛土に関し、設計上ならびに施工上考慮すべき要点について講義している。
5	土木・環境プログラム	鋼構造学	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を通じて工学と社会インフラとのつながりを説明している。
6	土木・環境プログラム	測量実習I	2	角田健治	30年以上の測量会社勤務の経験を活かし、測量実習を指導している。
7	土木・環境プログラム	測量実習II	2	角田健治、宮川 睦巳	測量実習を指導している。線形計算など実務を踏まえた指導をしている。
8	土木・環境プログラム	地域・都市計画	2	森田哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
9	土木・環境プログラム	土木構造力学I	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
10	土木・環境プログラム	土木構造力学II	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
土木・環境プログラム 集計			20		
1	建築都市プログラム	バウビオロギ-Ⅱ	2	石川恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
2	建築都市プログラム	環境デザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の都市環境デザインコンペ要項や自他の実務実例等を参照した課題設定に対する講評や指導を行っている。
3	建築都市プログラム	建築マネジメント	2	水出有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算、総合管理計画や個別施設設計の策定及び改定など各種ファシリタティブマネジメント業務に携わり、その実務経験に基づき講義している。
4	建築都市プログラム	建築計画I	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
5	建築都市プログラム	建築計画II	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
6	建築都市プログラム	建築計画III	2	馬場弘一郎	ゼネコ設計部での幅広い分野での経験、海外での設計経験(海外登録建築家資格保有)、BELCA、建築士会、JFMA他での委員経験から、総合的でグローバルな建築計画論を語る。
7	建築都市プログラム	建築計画実験	2	若松均	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
8	建築都市プログラム	建築構造実験	2	佐藤良介	ゼネコ勤務での経験を活かし、より高い技術を使用している施工現場の情報収集や選定を行い、学生に高度な技術を学ばせている。
9	建築都市プログラム	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
10	建築都市プログラム	建築設計II	2	若松均、駒田剛司	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
11	建築都市プログラム	建築設計III	2	駒田剛司、石黒由紀、渡瀬正記、伊藤孝仁	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
12	建築都市プログラム	建築設計基礎	2	若松均、藤野高志、安藤樹 矩也	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
13	建築都市プログラム	建築法規	2	川端洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18年(師由事件)の改正事務、及び県被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の担当を務めた。
14	建築都市プログラム	地盤・建築基礎構造	2	関崇夫	建築基礎構造の技術開発に携わり得た経験を活かし、最新技術の紹介、地盤と基礎構造に関する講義を行っている。
15	建築都市プログラム	都市環境計画I	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
16	建築都市プログラム	都市環境計画II	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
17	建築都市プログラム	防災まちづくり	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
建築都市プログラム 集計			34		
1	工学デザインプログラム	グラフィックデザイン	2	阿部由布子	グラフィックデザイナーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
2	工学デザインプログラム	クリエイティブコーディング	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
3	工学デザインプログラム	サウンドプログラミング	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
4	工学デザインプログラム	スペーステクニクス	2	岡山 俊介	構造設計事務所での設計実務経験を活かした実践的な授業内容
5	工学デザインプログラム	公害防止と電気保守	2	山中 憲行	労働安全の技術講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、公害防止や電気についての指導を行っている。
6	工学デザインプログラム	工学デザイン実習III a	2	石黒由紀、塚越智之、北澤伸浩	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
7	工学デザインプログラム	工学デザイン実習III b	2	中島修、今泉崇	中島修：インテリアプロダクトのデザイナー兼製作者、監修者としての経験を活かし、具体的な事例に基づいた指導を行う。 今泉崇：グローバル企業のインダストリアルデザイナーとして現在進行形で現場で求められていることを伝え、必要なスキル取得へ導く。
8	工学デザインプログラム	工学デザイン実習III c	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
9	工学デザインプログラム	工学デザイン実習IV a	2	駒田剛司、橋本薫	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している
10	工学デザインプログラム	集合住宅デザイン論	2	駒田剛司	集合住宅の設計実務を通じて得た経験・見地から指導を行う。
11	工学デザインプログラム	住空間構成論	2	石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かして指導を行う
工学デザインプログラム 集計			22		
学群共通科目(建・都・環) 集計			86		

1	学群共通科目 (情・生)	バイオ統計	2	大藤 衛	製薬会社での研究開発業務、バイオ企業での技術コンサルタントの経験を活かし、分子生物学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌遺伝子解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法など生命科学研究に必要な統計の基本についての講義を実施する。
2	学群共通科目 (情・生)	プログラミング言語・演習	2	荒井 武彦、干川 達也	人工衛星搭載用センサの組み込みソフトウェア開発や企業での実践的なソフトウェア開発における実務でのプログラミング経験を基に、プログラミング言語の演習を行う
3	学群共通科目 (情・生)	プログラミング言語・演習	2	三河賢治 浜元信州 小川 康一	実務でのプログラミング経験を基に、プログラミング言語の演習を行う。
4	学群共通科目 (情・生)	医学概論	2	首藤文洋	医学科での教員経験と獣医師としての臨床診療の実務経験を講義に反映。
5	学群共通科目 (情・生)	情報・生命基礎実習	2	本多一郎、松本浩樹、荒井武彦、首藤文洋、本間知夫、尾形智夫、山下聡、林秀謙、星淡子、藤秀夫、中山明	本実習は、情報・生命工学分野における研究や生産、品質管理などで使用される基本的な操作、原理、実験結果の解析方法等を学習することを目的とする実践的科目である。実施される各実験では担当する各教員の実務経験を活かして指導している。①国立研究機関（農水省関係）での農園芸学に従事した経験を活かして顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。②信号処理回路およびプログラムを含むシステム開発した経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。③実務でのプログラミング経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。④融合学問領域の研究者としての活動経験や臨床獣医としての経験を活かし、生理学実験を実施する。⑤国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、分析機器を用いた定量操作について実習を実施する。⑥企業における研究その他の実務経験を活かし、実験や研究における留意点や結果のまとめ方などについて教授する。⑦民間企業、国立研究機関での経験を活かし、分析機器の基本操作とその利用についての実習を担当する。⑧研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、顕微鏡を用いた微生物の観察実習を実施する。⑨民間企業、国立研究機関での経験を活かし、化学実験の基本操作とその重要性および注意点について教授する。⑩国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、重量、容量測定の基本操作とその重要性について教授する。⑪県立および国立の研究機関での植物、農園芸関係の実務経験を活かし、顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。
6	学群共通科目 (情・生)	数値解析	2	荒井 武彦	担当教員は、人工衛星に搭載する科学観測機器の組み込みソフトウェアを開発してきた。授業では、組み込みソフトウェア開発で鍛えたコーディング技術を伝授する。
<b>学群共通科目 (情・生) 集計</b>			<b>12</b>		
1	情報システムプログラム	コンピュータグラフィクス	2	優 乙石	生体分子構造のCGや表現方法を題材に、その他の生命系科目にも生かせる内容になっている。
2	情報システムプログラム	データベース	2	蒔田由布子	理化学研究所におけるデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行っている。
3	情報システムプログラム	データマイニング	2	蒔田由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を活かし、データマイニングの授業を行っている。
4	情報システムプログラム	プログラミング言語・演習II	2	関口達也	実務でのプログラミング経験を基に、有用なプログラムを読み解くことの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ること意識させた授業を行っている。
5	情報システムプログラム	プログラミング言語・演習III	2	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法（データ構造や並列化・高速化）を応用する。
6	情報システムプログラム	プログラミング言語・演習IV	2	中村建介	企業でのプログラミング経験を基に、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている。
7	情報システムプログラム	遺伝情報学	2	福地佐志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている。
8	情報システムプログラム	生物物理の基礎	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
9	情報システムプログラム	分子生物学の基礎	2	蒔田由布子	理化学研究所における分子生物学分野の研究経験を活かし、生物現象の分子的理解に関する基礎的な授業を実施している。
10	情報システムプログラム	並列分散処理	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
<b>情報システムプログラム 集計</b>			<b>20</b>		
1	工学プログラム	医用機器工学	2	首藤文洋	医学科教員(2001-2020)経験と獣医臨床経験を講義に反映。
2	工学プログラム	情報・通信論	2	松本浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
3	工学プログラム	信号処理	2	松本浩樹	音声・通信の信号処理回路およびプログラムを含むシステムの技術開発経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDSPへのコーディング手法の教育を行っている。
4	工学プログラム	生理学実習	2	首藤文洋	獣医師資格保持者であり人体解剖の知見・要点をモデル動物の解剖に適宜反映している。
5	工学プログラム	電気・電子回路実習	2	小堀康功	回路開発の実務経験を活かし、電気回路と電子回路の組み立て、オシロスコープ等の電子機器の取り扱いおよびそれらの機器を用いて回路の特性を計測する演習を行っている。
<b>工学プログラム 集計</b>			<b>10</b>		
1	生物応用プログラム	遺伝子工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での遺伝子工学での技術開発経験を活かし、遺伝子工学に関する基礎的な授業を実施している。PCR実験の原理について、遺伝子組み換え実験のための制限酵素等の使用について、大腸菌への組み換えDNAの導入方法等についての教育をおこなっている。
2	生物応用プログラム	機器分析	2	門屋利彦	医薬品の研究開発経験を活かし、食品や医薬品分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において利用される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで使用される機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を実施する。
3	生物応用プログラム	公衆衛生学・関係法規	2	船田一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生監視員、麻薬取締員などの現場での職務経験・知識を活かし、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
4	生物応用プログラム	食品製造学	2	本間知夫	研究機関におけるチャックをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、チャックなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
5	生物応用プログラム	生物化学工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物において反応として起こる増殖、反応、消費、損失などの現象について教授する。
6	生物応用プログラム	生物工学実験II	2	尾形智夫、林 秀謙、藤秀夫、本間知夫、山下 聡	"本授業は食品科学、食品衛生学、生理学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通じて習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。 ①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、微生物の顕微鏡観察、微生物の利用等)に関する実験を実施している。②研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生体化学的性質の解析などの指導をしている。 ③研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野などの技術開発経験を活かし、食品中の大腸菌群の検出、クリーンベンチを用いた無菌操作等食品の安全衛生に関する実験を指導している。 ④国立研究機関（農水省関係）での技術開発経験を活かし、食品科学、動物を用いた生理学実験を実施する。 ⑤民間企業、国立研究機関での経験を活かし、タンパク質の精製・分析、酵素活性測定、タンパク質重量や活性の定量的取り扱いに関する基礎的実験を実施する。
7	生物応用プログラム	生物工学実験III	2	本多一郎、中山 明	本授業は有機化学、天然物化学的な物質の合成、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、①研究機関等における有機合成、天然物有機化学、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を実験の内容、指導に活かしている。②研究機関における植物（バイオアッセイを含む）の技術開発経験を基に、植物の観察実習に活かしている。

8	生物応用プログラム	生物工学実験Ⅳ	2	尾形智夫、本間知夫、林 秀謙、藤 秀夫、山下 聡	本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また医薬品及び食品の工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験を正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、核酸抽出等に関する実験を実施している。②研究機関におけるチャームをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生学的取組みについて解説している。③研究機関における微生物分野の技術開発および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、細菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。④研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野の技術開発経験を活かし、PCR法などを用いた微生物の菌数測定、加熱処理による微生物の殺菌などに関する実験を実施している。⑤民間企業、国立研究機関での経験を活かし、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLCや原子吸光分析法などを指導している。
9	生物応用プログラム	微生物生理学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物生理学に関する授業（微生物の生育、微生物の代謝等）を実施して、微生物の多様性、微生物代謝の多様性、これらの多様性の産業への応用等に関する授業を実施している。
10	生物応用プログラム	微生物利用学	2	林 秀謙	研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分譲業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
11	生物応用プログラム	免疫学	2	門屋 利彦	製薬企業における医薬品の研究開発経験を活かし、免疫と疾患との関連、抗体作製方法、抗体やサイトカイン、増殖因子の研究材料や医薬品としての利用について例を挙げて授業を実施する。
<b>生物応用プログラム 集計</b>			<b>22</b>		
<b>情報生命・工学群集計</b>			<b>64</b>		
1	社会環境工学科	計画数理 計画数理（旧カリ）	2	森田哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。
2	社会環境工学科	建設マネジメント 建設マネジメント（旧カリ）	2	佐野 功	建設技術者として知っておくべきプロジェクトの構造やマネジメント法を、建設現場の現場監督から事業の計画まで経験した実務を背景にして講義する。
3	社会環境工学科	交通計画 交通計画（旧カリ）	2	森田哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
4	社会環境工学科	構造解析演習 構造解析演習（旧カリ）	2	久保武明	鋼橋の設計実務の経験を活かし、PCソフトによる橋梁構造の計算法・情報処理法等を解説している。
5	社会環境工学科	構造物設計論 構造物設計論（旧カリ）	2	菅野貴浩	鉄道構造物を維持・管理する立場で、高架橋・基礎・盛土に関し、設計上ならびに施工上考慮すべき要点について講義している。
6	社会環境工学科	構造力学Ⅲ 構造力学Ⅲ（旧カリ）	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を題材として、力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
7	社会環境工学科	鋼構造学 鋼構造学（旧カリ）	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を通じて工学と社会インフラとのつながりを説明している。
8	社会環境工学科	色彩工学 色彩工学（旧カリ）	2	佐藤孝史（技術士）、小池広明（技術士）	実務経験を通じた話題（事例紹介、資格、技術者としての取組姿勢等）を提供する。
9	社会環境工学科	測量実習Ⅱ 測量実習Ⅱ（旧カリ）	2	角田健治、宮川 睦巳	測量実習を指導している。地形計算など実務を踏まえた指導をしている。
10	社会環境工学科	地域・都市計画 地域・都市計画（旧カリ）	2	森田哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
<b>社会環境工学科 集計</b>			<b>20</b>		
1	建築学科	インテリアI インテリアI（旧カリ）	2	若松均	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
2	建築学科	パウビオロギーⅠ パウビオロギーⅡ（旧カリ）	2	石川恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
3	建築学科	ランドスケープ特論 ランドスケープ特論（旧カリ）	2	板垣範彦	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
4	建築学科	環境デザイン特論 環境デザイン特論（旧カリ）	2	石川恒夫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
5	建築学科	建築マネジメント 建築マネジメント（旧カリ）	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務で関わった複数自治体の事例、および公共施設の再整備計画を、ワークショップ形式の授業をとおして、実践的に教授している。
6	建築学科	建築計画Ⅰ 建築計画Ⅰ（旧カリ）	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
7	建築学科	建築計画Ⅱ 建築計画Ⅱ（旧カリ）	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
8	建築学科	建築計画Ⅲ 建築計画Ⅲ（旧カリ）	2	馬場弘一郎	ゼネコ設計部での幅広い分野での経験、海外での設計経験（海外登録建築家資格保有）、BELCA、建築士会、JFMA他での委員経験から、総合的でグローバルな建築計画論を語る。
9	建築学科	建築計画実験 建築計画実験（旧カリ）	2	若松均	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
10	建築学科	建築計画特論 建築計画特論（旧カリ）	2	石田敏明	設計実務の経験を活かし観察力、分析力、設計力とプレゼンテーション能力を身につけさせる課題設定と技術指導を行っている。
11	建築学科	建築構造実験 建築構造実験（旧カリ）	2	佐藤 良介	ゼネコ勤務での経験を活かし、より高い技術を使用している施工現場の情報収集や選定を行い、学生に高度な技術を学ばせている。
12	建築学科	建築構造特論 建築構造特論（旧カリ）	2	荒井 豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造、耐震診断及び耐震補強に関する最新技術の紹介、最近の建築構造技術と構法について、その特徴を実際の建物にもとづき講義を行っている。
13	建築学科	建築施工 建築施工（旧カリ）	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工管理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
14	建築学科	建築生産 建築生産（旧カリ）	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務の経験を活かし、建築だけでなく維持管理や会計など建築実務に即した講義を行っている。
15	建築学科	建築積算 建築積算（旧カリ）	2	水出有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算、総合管理計画や個別施設設計の策定及び改定など各種ファンクショナルマネジメント業務に携わっており、その実務経験に基づき講義している。
16	建築学科	建築設計Ⅱ 建築設計Ⅱ（旧カリ）	2	若松 均、石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
17	建築学科	建築設計Ⅲ 建築設計Ⅲ（旧カリ）	2	若松 均、石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
18	建築学科	建築設計Ⅳ 建築設計Ⅳ（旧カリ）	2	石川恒夫、石黒由紀、山梨綾菜	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識に基づき、課題設定と技術指導に活かしている。
19	建築学科	建築設計基礎Ⅰ 建築設計基礎Ⅰ（旧カリ）	2	石川恒夫	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
20	建築学科	建築設計基礎Ⅱ 建築設計基礎Ⅱ（旧カリ）	2	石川恒夫	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
21	建築学科	建築法規 建築法規（旧カリ）	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、H10年（民間開放他）とH18年（姉歯事件）の改正事務、及び県被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の主担当を務めた経験を生かし講義を行っている。
22	建築学科	鋼構造設計 鋼構造設計（旧カリ）	2	荒井 豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造図作成と応力解析及び構造設計を通じて、構造設計方法の講義と課題演習を行っている。
23	建築学科	地盤・建築基礎構造 地盤・建築基礎構造（旧カリ）	2	関 崇夫	基礎構造の技術開発に携わり得た経験を活かし、最新技術の紹介、地盤と基礎構造に関する講義を行っている。
24	建築学科	鉄筋コンクリート構造設計 鉄筋コンクリート構造設計（旧カリ）	2	金井善一	構造設計の実務経験を活かし、構造設計方法について、応力解析及び断面算定等の構造計算の流れを講義し、これらの理解のもとで構造図面の作成概要を説明する。
25	建築学科	都市環境計画Ⅰ 都市環境計画Ⅰ（旧カリ）	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
26	建築学科	都市環境計画Ⅱ 都市環境計画Ⅱ（旧カリ）	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
<b>建築学科 集計</b>			<b>52</b>		
1	生命情報学科	コンピュータグラフィクス コンピュータグラフィクス（旧カリ）	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事した経験を活かし、生体分子構造のCGや表現方法などの講義を行っている。
2	生命情報学科	データベース データベース（旧カリ）	2	蒔田由布子	理化学研究所においてのデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行っている。
3	生命情報学科	データマイニング データマイニング（旧カリ）	2	蒔田由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を活かし、データマイニングの授業を行っている。

4	生命情報学科	プログラミング言語・演習II プログラミング言語・演習II (旧カリ)	2	関口達也	実務でのプログラミング経験をもとに、有用なプログラムを読んで咀嚼することの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ること意識させた授業を行っている。
5	生命情報学科	プログラミング言語・演習III プログラミング言語・演習III (旧カリ)	2	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法(データ構造や並列化・高速化)を応用する。
6	生命情報学科	プログラミング言語・演習IV プログラミング言語・演習IV (旧カリ)	2	中村健介	企業でのプログラミング経験をもとに、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている。
7	生命情報学科	遺伝情報学 遺伝情報学 (旧カリ)	2	福地佐斗志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている。
8	生命情報学科	生物物理の基礎 生物物理の基礎 (旧カリ)	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
9	生命情報学科	生命情報学概論 生命情報学概論 (旧カリ)	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
10	生命情報学科	分子生物学の基礎 分子生物の基礎 (旧カリ)	2	蔦田由布子	理化学研究所における分子生物学分野の研究経験を活かし、生物現象の分子的理解に関する基礎的な授業を実施している。
11	生命情報学科	並列分散処理 並列分散処理 (旧カリ)	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
<b>生命情報学科 集計</b>			<b>22</b>		
1	システム生体工学科	プログラミング言語演習I プログラミング言語演習I (旧カリ)	2	荒井武彦	人工衛星搭載用センサの組み込みソフトウェア開発実務でのプログラミング経験を活かし、言語の具体的な動作解説から実際のコーディングまでの授業を行っている。
2	システム生体工学科	プログラミング言語演習II プログラミング言語演習II (旧カリ)	2	荒井武彦	人工衛星搭載用センサの組み込みソフトウェア開発実務でのプログラミング経験を活かし、言語の具体的な動作解説から実際のコーディングまでの授業を行っている。
3	システム生体工学科	医学概論 医学概論 (旧カリ)	2	首藤文洋	医学科での教員経験と獣医師としての臨床診療の実務経験を講義に反映。
4	システム生体工学科	医用機器工学 医用機器工学 (旧カリ)	2	首藤文洋	医学科教員(2001-2020)経験と獣医師臨床経験を講義に反映。
5	システム生体工学科	工学基礎演習I 工学基礎演習I (旧カリ)	2	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
6	システム生体工学科	工学基礎演習II 工学基礎演習II (旧カリ)	2	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
7	システム生体工学科	工学基礎演習III 工学基礎演習III (旧カリ)	2	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
8	システム生体工学科	情報・通信論 情報・通信論 (旧カリ)	2	松本浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
9	システム生体工学科	信号処理 信号処理 (旧カリ)	2	松本浩樹	音声・通信の信号処理回路およびプログラムを含むシステムの技術開発経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDSPへのコーディング手法の教育を行っている。
10	システム生体工学科	生理学 生理学 (旧カリ)	2	首藤文洋	融合学問領域の中で研究員として活動した経験や臨床獣医師としての診察・手術を行った経験を背景とした生理学教育を行う。
11	システム生体工学科	生理学実習 生理学実習 (旧カリ)	2	首藤文洋	人体解剖での要点をモデル動物の解剖に適宜反映している。
12	システム生体工学科	電気・電子回路実習 電気・電子回路実習 (旧カリ)	2	小堀康功	回路開発の実務経験を活かし、電気回路と電子回路の組み立て、オシロスコープ等の電子機器の取り扱いおよびそれらの機器を用いて回路の特性を計測する演習を行っている。
13	<b>システム生体工学科 集計</b>			<b>24</b>	
14	生物工学科	生物学実験II (旧カリ)	2	尾形智夫、林 秀謙、藤 秀夫、本間知夫、山下 聡	<p>“本授業は食品科学、食品衛生学、生理学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通じて習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。</p> <p>①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、微生物の顕微鏡観察、微生物の利用等)に関する実験を実施している。②研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生化学的性質の解析などの指導をしている。</p> <p>③研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野などの技術開発経験を活かし、食品中の大腸菌群の検出、クリーンベンチを用いた無菌操作等食品の安全衛生に関する実験を指導している。</p> <p>④国立研究機関(農水省関係)での技術開発経験を活かし、食品科学、動物を用いた生理学実験を実施する。</p> <p>⑤民間企業、国立研究機関での経験を活かし、タンパク質の精製・分析、酵素活性測定、タンパク質量や活性の定量的取り扱いに関する基礎的実験を実施する。</p>
15	生物工学科	バイオ統計 バイオ統計 (旧カリ)	2	大藤道衛	製薬会社での研究開発業務、バイオ企業での技術コンサルタントの経験を活かし、分子医科学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌叢解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法など生命科学研究に必要な統計の基本についての講義を実施する。
16	生物工学科	遺伝子工学 遺伝子工学 (旧カリ)	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での遺伝子工学での技術開発経験を活かし、遺伝子工学に関する基礎的な授業を実施している。PCR実験の原理について、遺伝子組み換え実験のための制限酵素等の使用について、大腸菌への組み換えDNAの導入方法等についての教育をおこなっている。
17	生物工学科	機器分析 機器分析 (旧カリ)	2	門屋利彦	医薬品の研究開発経験を活かし、食品や医薬分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において利用される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで使用される機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を実施する。
18	生物工学科	公衆衛生学・関係法規 公衆衛生学・関係法規 (旧カリ)	2	船田一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生監視員、麻薬取締員などの現場での職務経験・知識を活かし、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
19	生物工学科	食品製造学 食品製造学 (旧カリ)	2	本間知夫	研究機関におけるチャをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、チャなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
20	生物工学科	生物学実験III 生物学実験III (旧カリ)	2	本多一郎、中山 明	本授業は有機化学、天然物有機化学の物質取扱い、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、①研究機関等における有機合成、天然物有機化学、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を実験の内容、指導に活かしている。②研究機関における植物(バイオアッセイを含む)の技術開発経験を授業の内容や指導に活かしている。
22	生物工学科	生物学実験IV 生物学実験IV (旧カリ)	2	尾形智夫、本間知夫、林秀謙、藤秀夫、山下聡	<p>本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また医薬品及び食品の工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験を正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、核酸抽出等に関する実験を実施している。②研究機関におけるチャをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性(抗酸化性)や含有量を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生的取組みについて解説している。③研究機関における微生物分野の技術開発および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、細菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。④研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野の技術開発経験を活かし、PCR法などを用いた微生物の菌数測定、加熱処理による微生物の殺菌などに関する実験を実施している。⑤民間企業、国立研究機関での経験を活かし、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLCや原子吸光分析法などを指導している。</p>
23	生物工学科	微生物生理学 微生物生理学 (旧カリ)	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物生理学に関する授業(微生物の生育、微生物の代謝等)を実施して、微生物の多様性、微生物代謝の多様性、これらの多様性の産業への応用等に関する授業を実施している。
24	生物工学科	微生物利用学 微生物利用学 (旧カリ)	2	林秀謙	研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分離業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
25	生物工学科	免疫学 免疫学 (旧カリ)	2	門屋利彦	製薬企業における医薬品の研究開発経験を活かし、免疫システムと疾患との関連、抗体作製方法、抗体やサイトカイン、増殖因子の研究材料や医薬品としての利用について例を挙げて授業を実施する。
<b>生物工学科 集計</b>			<b>22</b>		

1	生物工学科 (教職)	教育実習事前事後指導	2	小林清	教員の育成経験と学校現場での経験を活かし教育実習に向けての心構え、後の学生へのフォローを行っている。
2	生物工学科 (教職)	教職実践演習(高)	2	小林清	教員としてのキャリア、学校運営経験により教職課程の総括である科目を担当している。
生物工学科 (教職) 集計			4		
1	総合デザイン工学科	アーバンスケープデザイン アーバンスケープデザイン (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の都市環境デザインコンペ要項や自他の実務実例等を参照した課題設定に対する講評や指導を行っている。
2	総合デザイン工学科	アプリケーション開発 アプリケーション開発 (旧カリ)	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
3	総合デザイン工学科	インテリアデザイン応用 インテリアデザイン応用 (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じた空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
5	総合デザイン工学科	グラフィックデザイン グラフィックデザイン (旧カリ)	2	阿部由布子	グラフィックデザイナーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
6	総合デザイン工学科	クリエイティブコーディングクリエイティブコーディング (旧カリ)	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
7	総合デザイン工学科	コミュニティデザイン コミュニティデザイン (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現実的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
8	総合デザイン工学科	コンテクスチュアルデザイン コンテクスチュアルデザイン (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じた空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
9	総合デザイン工学科	サウンドプログラミング サウンドプログラミング (旧カリ)	2	田所淳	実務として行ってきたサウンドプログラミングの経験や技術を反映している。
10	総合デザイン工学科	データ構造とアルゴリズム データ構造とアルゴリズム (旧カリ)	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している
11	総合デザイン工学科	デザインCAD デザインCAD (旧カリ)	2	橋本薫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
12	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣA デザイン演習ⅣA (旧カリ)	2	駒田剛司	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している
13	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣB デザイン演習ⅣB (旧カリ)	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
14	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣC デザイン演習ⅣC (旧カリ)	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
15	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅱ デザイン演習Ⅱ (旧カリ)	2	駒田剛司、江本開夫、田所 淳	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
16	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅱ デザイン演習Ⅱ (旧カリ)	2	駒田剛司、杉浦 榮	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
17	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅲ デザイン演習Ⅲ (旧カリ)	2	江本開夫、杉浦 榮、橋本 薫	実務経験を活かし、実際の地域や敷地(前橋まちなかエリア等)を対象とし、包括的な調査?分析から、現実的な課題を解消し、地域の潜在資源を活かすような空間?プロダクト?情報デザイン提案への技術指導を行っている。
18	総合デザイン工学科	デザイン基礎演習Ⅱ デザイン基礎演習Ⅱ (旧カリ)	2	江本開夫	設計・デザイン実務の経験を活かし、基本要素の組合せから産まれる多様な空間性のスタディを行う課題設定と、製図や模型を伴うプレゼンテーション表現の技術指導を行っている。各回の講義の内容は、課題に対して各教員が実務で培ってきた知見と実践が活用されている。
19	総合デザイン工学科	デジタル造形基礎 デジタル造形基礎 (旧カリ)	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
20	総合デザイン工学科	プログラミングII プログラミングII (旧カリ)	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
21	総合デザイン工学科	プロダクトデザインII プロダクトデザインII (旧カリ)	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
22	総合デザイン工学科	メディアアートプログラミング メディアアートプログラミング (旧カリ)	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
23	総合デザイン工学科	応用測量学 応用測量学 (旧カリ)	2	鈴木健一	実務を通して測量の著しい変化を強く感じている。このため、従来からの測量に加え、今後必須になるであろう新しい測量が身に付く授業を進めている。
24	総合デザイン工学科	瓦施工 瓦施工 (旧カリ)	2	宇佐見隆志	瓦の材料特性や施工方法、瓦を用いた設計手法を主題とした指導において、設計、施工の実務経験を活かしている。
25	総合デザイン工学科	環境デザインI 環境デザインI (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現実的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
26	総合デザイン工学科	環境デザインII 環境デザインII (旧カリ)	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の都市環境デザインコンペ要項や自他の実務実例等を参照した課題設定に対する講評や指導を行っている。
27	総合デザイン工学科	環境情報デザイン 環境情報デザイン (旧カリ)	2	田所淳	実務として行ってきたサウンドプログラミングの経験や技術を反映している。
28	総合デザイン工学科	建築マネジメント 建築マネジメント (旧カリ)	2	小川貴之	建築設計・監理を含む建築マネジメント全体を通して、建築における生産性、維持管理の効率性、建築関係法等について、実務者(一級建築士)として実務に携わった経験を活かしている。
29	総合デザイン工学科	建築構造 建築構造 (旧カリ)	2	長谷川一美	設計の実務経験をおして得られた知見をもとに、「ものづくり」の基本である「もののしくみ」、その応用である「様々な材料の特性や構造システム」の理解を促す指導を行っている。
30	総合デザイン工学科	建築施工 建築施工 (旧カリ)	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
31	総合デザイン工学科	建築法規 建築法規 (旧カリ)	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18年(姉歯事件)の改正事務、及び県被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の主担当を務めた経験を生かし講義を行っている。
32	総合デザイン工学科	構造実験 構造実験 (旧カリ)	2	山中 憲行、林 貞夫	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
33	総合デザイン工学科	組積造 組積造 (旧カリ)	2	藤井秋男	コンクリートブロックの材料特性およびコンクリートブロック造の設計手法を主題とした指導において、設計、監理、施工の実務経験を活かしている。
34	総合デザイン工学科	耐震工学 耐震工学 (旧カリ)	2	長谷川一美	設計実務の経験を活かし、実際の耐震性問題の提起、および手計算レベルで耐震性を論じうる振動解析理論を修得できる指導を行っている。
35	総合デザイン工学科	地域産業文化論 地域産業文化論 (旧カリ)	2	手島仁	群馬学、地域学の知見を生かした授業を展開する。
36	総合デザイン工学科	鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造 (旧カリ)	2	長谷川一美	設計実務の経験を活かし、鉄筋+コンクリートの複合材料特性および応力に対する構造特有の解決方法を、生きた構造として習得し、活用出来る様に指導を行っている。
総合デザイン工学科 集計			70		
総計			374		